

お茶の水女子大学学報

昭和 55 年 1 月 1 日
お茶の水女子大学庶務課

目 次

関 係 法 令	1
人 事 事	2
学 事	3
諸 報	10
海外渡航	10
昭和54年度人間ドックの実施について	10
昭和54年度教職員一般定期健康診断の実施について	10
昭和54年度教職員ソフトボール大会について	10
昭和54年度バス旅行について	11
昭和54年度教職員一般定期健康診断(第2回)について	11
昭和54年度胃の検査について	11
昭和54年度教職員肝臓機能検査について	11
昭和54年度(第1回)職員特別定期健康診断について	11
昭和54年度第1回教職員作品展について	11
昭和54年度教職員卓球大会について	12
第21回関東地区中堅係員研修の開催について	12
計 報	12
新任者住所	12
職員の住所変更	12
住居表示変更	12
日 誌(抄)	12

関 係 法 令

【 法 律 】

- 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律(法律第57号、12月12日官報号外)
- 昭和42年度以後における国家公務員共済組合等からの年金の額の改定に関する法律等の一部を改正する

法律(法律第72号、12月28日官報号外)

【 政 令 】

- 昭和42年度以後における国家公務員共済組合等からの年金の額の改定に関する法律施行令の一部を改正する政令(政令第312号、12月28日官報号外)
- 国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令(政令第313号、12月28日官報号外)
- 国家公務員共済組合の更新組合員等で代用教員等の期間を有するものが申出をした場合における長期給付に関する措置等に関する政令(政令第314号、12月28日官報号外)

【 規 則 】

- 現行の法律、命令及び規則の廃止の一部を改正する規則(人事院規則1-4、12月12日官報号外)
- 初任給、昇格、昇給等の基準の一部を改正する規則(人事院規則9-8、12月12日官報号外)
- 通勤手当の一部を改正する規則(人事院規則9-24、12月12日官報号外)
- 初任給調整手当の一部を改正する規則(人事院規則9-34、12月12日官報号外)
- 住居手当の一部を改正する規則(人事院規則9-54、12月12日官報号外)
- 教職調整額の支給方法等の一部を改正する規則(人事院規則9-57、12月12日官報号外)
- 最高号俸を超える俸給月額を受ける職員の俸給の切替えに関する規則(人事院規則9-73、12月12日官報号外)
- 俸給の調整額の一部を改正する規則(人事院規則9-6、12月20日官報)
- 職員の身分保障の一部を改正する規則(人事院規則11-4、12月28日官報)

人事

◎人事異動

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
54.11.1		西尾 道子	文部教官(講師文教育学部)に採用する
(昇任)			
54.12.16	文部教官(講師家政学部)	本間 清一	助教授家政学部に昇任させる
(辞職)			
54.11.7	文部事務官(庶務課)	福田 眞一	辞職を承認する
(退職)			
54.12.10	文部教官(教授家政学部)	田辺 義一	死亡
(臨時的任用)			
54.12.8		中澤 澄子	文部教官(文教育学部附属高等学校教諭)に臨時的に任用する 任期は昭和55年1月18日までとする
54.12.12	文部教官(文教育学部附属小学校教諭)	高柳 和子	臨時的任用を更新する 任期は昭和55年1月15日までとする

◎非常勤講師

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
54.11.1		西川大二郎	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		中村 妙子	〃
〃		豊崎 光一	〃
〃		山本 礼子	〃
〃		河野 啓子	〃
〃		草場 公邦	講師(理学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		岩田 末廣	〃
〃		中田 雅子	講師(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		山田 優子	講師(文教育学部附属小学校)に採用する 任期は昭和54年11月30日までとする
〃		福田 理恵	〃

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.11.1		星合 昌子	講師(文教育学部附属幼稚園)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		中村雄二郎	講師(大学院人間文化研究科)に採用する 任期は昭和55年1月31日までとする お茶の水女子大学客員教授の称号を付与する 付与期間は昭和55年1月31日までとする
54.12.1		佐藤 進一	講師(大学院人間文化研究科)に採用する 任期は昭和55年2月29日までとする お茶の水女子大学客員教授の称号を付与する 付与期間は昭和55年2月29日までとする
54.12.16		荒 このみ	講師(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
(併任)			
54.11.1	東京外国語大学助教授	川辺 光	講師(文教育学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	東京大学教授	戸田 昭三	講師(家政学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
54.12.16	名古屋大学教授	四方 義啓	講師(理学部)に併任する 併任の期間は昭和55年3月31日までとする
〃	東京工業大学教授	小口 武彦	〃
〃	東北大学助教授	横井 弘	〃
〃	東京大学助教授	井上 圭三	〃
〃	国立遺伝学研究所	丸山 毅夫	〃
(併任解除)			
54.11.30	東京大学教授	能勢 幸雄	講師(文教育学部)の併任を解除する

◎非常勤職員

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
(採用)			
54.11.1		富田富美代	事務補佐員(女性文化資料館)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.11.1		宿澤 洋美	教務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
〃		糸井 尚子	事務補佐員(文教育学部 附属幼稚園)に採用する 任期は昭和54年12月15日までとする
〃		千村 泰子	〃
〃		和田今日子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする

発令年月日	現官職	氏名	異動内容
54.11.16		山田裕紀子	臨時事務補佐員(文教育学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
54.12.1		原 善子	教務補佐員(家政学部)に採用する 任期は昭和55年3月31日までとする
(辞職)			
54.11.30	教務補佐員(家政学部)	小宮真理子	辞職を承認する
54.12.31	事務補佐員(庶務課)	山本みどり	〃

学 事

○昭和55年度お茶の水女子大学学生募集要項

1. 学科別募集人員

文教育学部	哲学科	史学科	地理学科	国文学科	外国文学科			教育学科			人員計	
					中国文学	英文学	仏文学	教育学	表体	現学		音楽
					中国語学	英語学	仏語学	専攻	専攻	専攻		専攻
20	20	20	30	10	30	5	35	15	12	197		
理学部	数 学 科				物 理 学 科	化 学 科	生 物 学 科			計		
	20				20	20	25				85	
家政学部	児 童 学 科				食 物 学 科	被 服 学 科	家 庭 経 営 学 科			計		
	35				32	30	28				125	

2. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 高等学校を卒業した者及び昭和55年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び昭和55年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

3. 出願手続

(1) 出願書類等

1. 出願カード 本学所定のもの。
2. 昭和55年度共通第1次試験成績請求票(国公立大学用)出願カードに貼付すること。
3. 調査書 出身学校長が作成し厳封したもの。
大学入学資格検定合格者は、合格成績証明書(文部省発行)を提出する。
4. 健康診断書 昭和54年3月高等学校卒業生及び昭和55年3月高等学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。ただし、上記以外の者は「視力、色覚、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した健康診断書(様式は特に定めない。)を提出する。
5. 検定料8,000円「郵便為替」とし受取人指定欄にお茶の水女子大学と書く。
6. 受験許可書 他大学在学者に限り学長・学部長・学生部長のいずれかが証明したものを提出する(様式

は特に定めない)。

7. 受験票返送用封筒 50円切手貼付の封筒(23.5cm×12cm)に受信先を明記したもの。

(2) 出願方法

1. 出願書類等の提出は郵送に限る。必ず書留速達にすること。
2. 出願書類等の郵送は、志望学部事務部あてとし、本学所定の封筒を用い、1封筒1願書に限る。封筒下欄の志願者欄に、住所、氏名、志望学科及び専攻名等を明記すること。

注 本学では出願書類を受理すると「受験票」と「受験者心得」を直ちに返送しているため、願書発送後10日間たっても未着のときは志望学部事務部に問い合わせること。

4. 出願期間

昭和55年2月9日(土)～2月15日(金) 締切日までの消印があれば有効

5. 第2次学力検査

(1) 期 日 3月4日(火)〔5日(水)は実技検査〕

(2) 学力試験

志願する学部・学科	試 験 科 目	備 考
文 教 育 学 部	現代国語、古典Ⅰ乙 外国語(英語B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	教育学科 表現体育学専攻と 教育学科 音楽教育学専攻の 志望者にはほかに実技検査を行う。
理 学 部	数 学 科 数学Ⅰ、数学ⅡB、数学Ⅲ※ 外国語(英語B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	第一志望学科について決められた科目を受験すること。
	物 理 学 科 数学Ⅰ、数学ⅡB、数学Ⅲ※、物理Ⅰ・Ⅱ※	
	化 学 科 数学Ⅰ、数学ⅡB、化学Ⅰ・Ⅱ ○数学Ⅲ※、○物理Ⅰ・Ⅱ※、○生物Ⅰ・Ⅱ※ ○印の科目のうち1科目を選択	
	生 物 学 科 数学Ⅰ、数学ⅡB、生物Ⅰ・Ⅱ※ ○数学Ⅲ※、○物理Ⅰ・Ⅱ※、○化学Ⅰ・Ⅱ ○印の科目のうち1科目を選択	
家 政 学 部	児童学科 被服学科 家庭経営 学 科 外国語(英語B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ○現代国語・古典Ⅰ乙 ○数学Ⅰ・数学ⅡB ○印の教科のうち1教科を選択	児童学科を第一志望とする者には小論文を課す。
	食 物 学 科 数学Ⅰ、数学ⅡB 外国語(英語B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)	

※数学、理科については高等学校学習指導要領中、数学Ⅲは「内容」(64頁)のうち「B確率・統計」を除く。物理は物理Ⅱの「内容」(72、73頁)のうち「(4)原子の構造」を除く。
生物は生物Ⅱの「内容」(80頁)のうち「(1)生命現象と分子」及び「(3)生物の進化」を除く。

(3) 実 技 検 査

○表現体育学専攻志望者(第一志望、第二志望とも)に次の二種の検査を行う。

- ① ダンス(全員共通)………与えられた基礎運動及び創作
- ② スポーツ(次のうち、1種目を選択)
ア. 陸上競技(短距離走及び走幅跳)

イ. 器械運動 (平均台運動及びマット運動)

ウ. 新体操 (手具運動)

エ. バレーボール

オ. バスケットボール

カ. 硬式テニス又は軟式テニス

キ. 卓球

ク. バドミントン

○音楽教育学専攻志望者 (第一志望、第二志望とも) に次の検査を行う。

① ソルフェージュ (全員に課する)

ア. 聴音: 1~4声部

イ. 新曲視唱

ウ. 器楽: J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽 (約3分以内) から自由選択し、ピアノで演奏すること。

なお、希望者はピアノのほか他に他楽器 (邦楽器を含む。) の演奏を加えてもよい。

② 演奏 (志望する者のみ) [願書の志望欄には必ず音ア又は音イを明記すること]

志望する者は、次のア. 声楽 イ. ピアノのいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。

なお、志望しない者は、いずれをも演奏する必要はない。

ア. 声楽

下記の i)、ii) からそれぞれ1曲、計2曲を自由選択。

i) 歌曲 (移調も可)

ii) アリア (原調に限る。)

なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜 (複写譜も可) に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。

イ. ピアノ

下記の i)、ii) のいずれか一方を選択。繰り返しはしないこと。

i) ベートーベンのソナタから一つの楽章を自由選択 (ただし、緩徐楽章を除く)。

ii) ショパンの練習曲集 (作品10、作品25) から2曲を自由選択。

(4) 小論文

児童学科を第一志望とする者には、小論文を課す。

与えられた課題について、所定の600字詰紙書き原稿用紙3枚以内に論述させる。

6. 第2次学力検査日時割

日 時		3 月 4 日 (火)		3月5日(水)
学部 学科・専攻等	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 教 育 学 科 教 育 学 専 攻	国 語 10:00~11:40	外 国 語 13:10~14:50	
	教 育 学 科 表 現 体 育 学 専 攻 音 楽 教 育 学 専 攻			実 技 10:00~
理 学 部	数 学 科	数 学 I・II B 10:00~11:40	数 学 III・外 国 語 13:10~15:40	
	物 理 学 科		物 理・数 学 III 13:10~15:40	
	化 学 科		化 学・選 択 (数 学 III・物 理・生 物) 13:10~15:40	
	生 物 学 科		生 物・選 択 (数 学 III・物 理・化 学) 13:10~15:40	

学部 学科・専攻等	3 月 4 日 (火)		3月5日(水)
家政学部	児童学科 被服学科 家庭経営学科 食物学科	選 国 摺 語 (数学 I・II B 10:00~11:40 数学 I・II B 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50 小論文15:20~17:00

7. 検査場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

8. 合格発表及び入学手続等

- (1) 合格決定 学力検査(共通第1次学力試験・第2次学力検査)・調査書並びに健康診断書を総合して決定する。
- (2) 合格発表 3月18日(火)の午後。学内本部棟前に掲示するとともに合格通知書及び入学、入寮の関係書類を送付する。
- (3) 入学手続 4月3日(木)と4日(金)の2日間
この間に手続をしない者は、入学を辞退したものとみなす。

9. 注意事項

受験関係の問い合わせは志望学部事務部あてとし、必ず、往復はがきによるか、又は返信用封筒(切手貼付)を同封し、返信先を明記すること。

○昭和55年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科(修士課程)

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名および募集人員

専攻名	募集人員	専攻名	募集人員
哲学専攻	8	英文学専攻	8
史学専攻 { 日本史学 東洋史学 西洋史学	8	教育学専攻	12
地理学専攻	6	舞踊教育学専攻 { 舞踊教育学 遊戯学 動作学 音楽学 演奏学	10
日本文学専攻	8		
中国文学専攻	4		

2. 修業年限 2年

3. 出願資格 下記該当の女子とする。

1. 大学を卒業した者、および昭和55年3月卒業見込の者
2. 学校教育法施行規則第70条の規定により、本学の大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業(または見込)証明書
- (3) 推薦書 指導教官または主任教官等により作成されたもの(形式随意)
- (4) 調査書 大学院修士課程入学選抜実施要項に基づく調査書。用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 上半身、出願前3か月以内に撮影したもの。大きさ名刺型。3枚、願書の指定欄にはる。
- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を表記し、50円切手をはる。

(8) 受験許可書 在職中のものは所属長の許可書を添えること。

前記書類を一括し、入学検定料を添え、所定の期日までに本学に到着するよう提出のこと。郵送するときは書留郵便とし、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書する。

検定料(12,000円)の送付は定額小為替とし、受取人欄に「お茶の水女子大学」とだけ明記すること。

5. 出願期日・願書受付場所

(1) 1月16日(水)から1月24日(木)までの間、休日を除き毎日午前9時から午後3時まで。ただし土曜日は午前11時30分まで。なお、郵送の場合は締切日が過ぎても昭和55年1月24日以前の消印のあるものに限り受け付ける。

(2) 受付場所 下112 東京都文京区大塚2丁目1番1号 本学文教育学部事務部(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車)

6. 選考期日・時間割および試験場所

(1) 選考期日 昭和55年2月1日(金) 2日(土)

(2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名		2/1 筆記試験科目		2/2 口述試験	備考
		外国語	専門科目 (13:00 ~15:00)		
哲学専攻	哲学	10:00~11:30 英・独・仏・ 中国語の中から 1か国語を選択 する。 ただし、中国 文学専攻志望者 が中国語を、英 文学専攻志望者 が英語を選択す ることはできな い。	哲学	10:00~	学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
	倫理学		倫理学		
	美学		美学		
	社会哲学		社会哲学		
史学専攻	日本史学	文学専攻志望者 が中国語を、英 文学専攻志望者 が英語を選択す ることはできな い。	日本史学	10:00~	学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
	東洋史学		東洋史学		
	西洋史学		西洋史学		
地理学専攻			地理学		註ハ、参照
日本文学専攻			国文学および国語学		
中国文学専攻			中国語および中国文学		学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
英文学専攻			英語・英語学および英米 文学		学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
教育学専攻			教育学・教育心理学のう ちいずれか1科目選択、 および論文		学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
舞踊教育 学専攻	舞踊 教育学	10:00~11:30 英・独・仏・ 中国語の中から 1か国語を選択 する。 ただし、中国 文学専攻志望者 が中国語を、英 文学専攻志望者 が英語を選択す ることはできな い。	舞踊学および論文	10:00~	学士論文提出可能 な者は願書と同時 に提出すること。
	遊戯学		論文は志望する講座出題 の課題を選択する。	舞踊実技を課す ることがある。	
	動作学				
	音楽学				
	演奏学		西洋音楽史または日本音 楽史	10:00~	演奏を課するこ とがある。

註 イ. 上記の選択科目については出願の際届け出るものとする。

ロ. 口述試験は主として志望する専攻又は学士論文について行なう。

ハ. 地理学専攻の筆記試験には学士論文もしくは、これに準ずる研究の要旨記述を含ませることがある。

ニ. 学士論文(上記、提出を指示された専攻志望者のみ。)を提出できない事情のある者はその旨申し

出ること。

ホ. 教育学専攻および舞踊教育学専攻（舞踊教育学、遊戯学、動作学）志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文（2,000字程度）を作成する。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学（東京都文京区大塚2丁目1番1号）

7. 検定料・入学料および授業料 検定料 12,000円 入学料 80,000円 授業料（年間）144,000円

8. 合格者発表

合格した者には昭和55年2月9日（土）午後、本人に通知すると共に学内にその氏名を掲示する。

9. 注意事項

- (1) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。
- (2) 出願手続後はどんな事情があっても、書類の変更および検定料の払戻しの要求には応じない。
- (3) 合格、不合格に関する郵便、電信、電話等による問い合わせには一切応じない。

○昭和55年度お茶の水女子大学大学院博士課程人間文化研究科

学 生 募 集 要 項

1. 専攻名及び募集人員

比較文化学専攻 16名
人間発達学専攻 10名
人間環境学専攻 9名

2. 修業年限 3年

3. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 修士の学位を有する者（昭和55年3月修士の学位を得る見込みの者を含む）
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたる者

4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付する。
- (2) 修士課程修了（見込）証明書
- (3) 調査書 出身大学長又は研究科の長が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (4) 健康診断書 公的医療機関で作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (5) 写真2葉 出願3カ月以内撮影の正面上半身バック無地のもの（4.5cm×5.5cm）を願書指定欄にはること。
- (6) 受験許可書 在職中の者は所属長の、他の大学院に在学中の者は当該大学長の許可書とする。

上記書類を一括し、入学検定料12,000円を添え出願期間内に本学に提出すること。やむを得ず郵送する場合は、検定料を郵便為替（受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記すること。）とし、同封の上、出願期間内（締切日の消印有効）に到着するよう書留郵便で送付すること。その場合、封筒に「人間文化研究科 願書在中」と朱書きし、返信用封筒（あて先を明記し、250円切手貼付）を同封すること。

5. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出願期間 昭和55年1月16日（水）から1月28日（月）まで。
日曜日を除き、午前9時から午後3時まで。ただし、土曜日は午前11時30分まで
- (2) 願書受付場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟1階事務室

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

6. 第一次試験

- (1) 選考期日 昭和55年2月4日（月）
- (2) 試験内容 筆答試験（論文・言語）
- (3) 時間割

日 時	2月4日(月)	
専攻名	10:00~12:00	13:00~15:00
比較文化学専攻	論 文	言 語 (英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本古典語の中から2科目を選択すること。)
人間発達学専攻		
人間環境学専攻		

- 注. イ) 上記言語の選択科目については、出願の際届け出るものとする。
 ロ) 英語・ドイツ語・フランス語・中国語については、辞書の使用を認める。
 ハ) 日本古典語は、古文・日本漢文・古文書とし、3種目の中から2種目を試験場で選択すること。

- (4) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟
 (5) 第一次合格発表 昭和55年2月8日(金)人間文化研究科棟1階掲示板に掲示する。

7. 第二次試験手続

第一次試験合格者は、2月9日(土)午後5時までに、人間文化研究科棟1階事務室に次の書類を提出すること。

- (1) 修士論文 1部 ただし、修士論文提出後の研究により修士論文を補足する研究成果のある場合には、その論文を1部添付することができる。また、修士論文以外に別主題について発表した論文があり、その論文を主論文とすることを希望するときは、その旨を明記し、1部添付すること。なお、修士論文をもたない場合は、これにかわるもの1部
 (2) 上記論文(主論文)の要旨 2,000字以内、横書き、B4版用紙2枚(図表を含む)におさめ、コピー10部
 (3) 研究計画書 1,000字前後、横書き、B4版用紙1枚におさめ、コピー10部

8. 第二次試験

- (1) 選考期日 昭和55年2月28日(木)、29日(金)の2日間
 (2) 試験内容 口述試験(主論文及び研究計画)
 (3) 試験場所 お茶の水女子大学人間文化研究科棟

9. 合格者発表

合格者には、昭和55年3月8日(土)午前本人に通知するとともに、人間文化研究科棟1階掲示板にその氏名を掲示する。

10. 入学科及び授業料

入 学 料 80,000円
 授業料(年額) 144,000円(前期72,000円、後期72,000円)

11. 注意事項

- (1) 同一年度に2専攻に出願することはできない。
 (2) 出願手続後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払いもどしの要求には応じない。
 (3) 出願について、不明のある場合は、大学院係に問い合わせられたい。
 (4) 合格・不合格に関する郵便・電信・電話等による問い合わせには一切応じない。

諸 報

○ 海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
家政学部 教授	藤 巻 正 生	インドネシア共和国	熱帯アジアにおける食品貯蔵、加工、醸酵の微生物学的展望に関する国際シンポジウムに共催学会の代表として出席、併せて日本、インドネシア共和国両国間の食品科学に関する学術交流のため	54. 12. 8 54. 12. 15	研 修
保健管理センター 教授	奥 野 剛	インドネシア共和国、 インド	デング熱及び日本脳炎の疫学的状況に関する研修	54. 12. 22 55. 1. 6	〃
文教育学部 教授	柳 宗 玄	インド	インド美術研究	54. 12. 23 55. 1. 5	〃
家政学部 助 教 授	原 ひろ子	インド	「女性と宗教」に関する国際会議出席とインドにおける婦人問題研究の現状についての視察	54. 12. 25 55. 1. 8	〃

○昭和54年度人間ドックの実施について

昭和54年度教職員健康管理事業の一環として人間ドックが下記のとおり実施された。

期間 昭和54年7月2日(月)～昭和54年12月14日(金)

受診者 一泊2日コース 29名
日帰りBコース 14名

○昭和54年度教職員一般定期健康診断の実施について

全職員に対し、人事院規則10-4「職員の保健及び安全保持」第20条の規定に基づき、教職員の健康診断が下記のとおり実施された。

日 時 昭和54年11月6日(火) 13時～15時45分
昭和54年11月7日(水) 13時～15時45分

場 所 保健管理センター

検査項目 (1) 診 察 全員
(2) 胸部レントゲン検査(間接撮影) 全員
ただし、直接撮影を必要とする者及び撮影後3か月を経過しない者を除く。

(3) 血圧測定 満35才以上

(4) 尿検査(蛋白・糖他) 満35才以上

受 診 者 297名

○昭和54年度教職員ソフトボール大会について

昭和54年度学内レクリエーション共同事業の一環

として、ソフトボール大会が教職員の親睦を図ることを目的に下記のとおり実施された。

日 時 昭和54年11月13日(火)～昭和54年11月15日(木) 12時～13時

場 所 大学グラウンド

対戦結果 第1回戦第1試合(11月13日)

回数	1	2	3	4	5	6	7	計
チーム名								
理学部・家政学部	0	0	0	0	0			0
会 計 課	1	6	3	0	0			10

第1回戦第2試合(11月13日)

回数	1	2	3	4	5	6	7	計
チーム名								
庶務課・施設課・人間文化研究科	3	0	7					10
学生部・保健管理センター・附属図書館・女性文化資料館	3	6	2					11

第2回戦(11月14日)

回数	1	2	3	4	5	6	7	計
チーム名								
学生部・保健管理センター・附属図書館・女性文化資料館	5	3	0	2				10
文教育学部・附属学校	3	0	0	2				5

決勝戦 (11月15日)

回数	1	2	3	4	5	6	7	計
チーム名								
学生部・保健管理センター・附属図書館・女性文化資料館	4	4	0	0	0	1		9
会計課	5	0	1	0	4	×		10

表彰 1位 会計課 優勝カップ 賞品
 2位 学生部・保健管理センター・附属図書館・女性文化資料館 賞品
 他は参加賞

○昭和54年度バス旅行について

本学教職員のレクリエーション行事の一環として、バス旅行が下記のとおり実施された。

期 日 昭和54年11月18日 (日)
 見学先 長瀬、秩父自然科学博物館
 参加者数 60名

○昭和54年度教職員一般定期健康診断 (第2回) について

前回受診しなかった者に対し、人事院規則10-4「職員の保健及び安全保持」第20条の規程に基づき、教職員の健康診断が実施され、あわせてレントゲン直接撮影を必要とする者に対し、精密検査が下記のとおり実施された。

日 時 昭和54年11月21日 (水) 13時30分～15時30分
 場 所 保健管理センター
 検査項目 1 一般定期健康診断
 (1) 診察 全員
 (2) 胸部レントゲン検査 (間接撮影) 全員
 (3) 血圧測定 満35才以上
 (4) 尿検査 満35才以上
 2 レントゲン直接撮影対象者
 (1) 胸部レントゲン検査 (直接撮影)
 受診者数 33名

○昭和54年度胃の検査について

人事院規則10-4「職員の保健及び安全保持」第20条の規定に基づき、一般定期健康診断の一環として、満40才以上の常勤職員を対象に胃の検査が下記のとおり実施された。

日時 昭和54年11月21日 (水) 8時30分～11時30分
 昭和54年11月22日 (木) 8時30分～11時30分

場所 保健管理センター前集団検診車

受診者数 60名

○昭和54年度教職員肝臓機能検査について

人事院規則10-4「職員の保健及び安全保持」第20条の規定に基づき、一般定期健康診断の一環として、満40才以上の教職員に対し、肝臓機能検査が下記のとおり実施された。

日時 事務系職員
 昭和54年11月27日 (火) 9時30分～11時30分
 理学部、家政学部の教官
 昭和54年11月28日 (水) 9時30分～11時30分
 文教育学部の教官
 昭和54年12月5日 (水) 9時30分～11時30分
 附属学校の教官
 昭和54年12月6日 (木) 9時30分～11時30分

場所 保健管理センター

検査項目 1 ビリルビン
 2 GOT
 3 ZTT
 4 アルカリフォスターゼ

受診者数 103名

○昭和54年度 (第1回) 職員特別定期健康診断について

人事院規則10-4「職員の保健及び安全保持」第20条に基づき、同規則別表第三に掲げる業務に従事する者に対し健康診断が下記のとおり実施された。

日時 昭和54年12月10日 (月) 9時30分～11時30分
 昭和54年12月11日 (火) 9時30分～11時30分
 対象者 1 タイピスト
 2 守衛
 3 自動車運転手
 場所 保健管理センター
 受診者数 10名

○昭和54年度第1回教職員作品展について

本学教職員のレクリエーション行事の一環として、教職員作品展が下記のとおり実施された。

開催日時 昭和54年12月11日 (火) } 12時～13時まで
 昭和54年12月14日 (金)
 開催場所 一般教育1号館ホール
 応募作品 写真 (26点) 絵画 (4点) 書道 (3点) 生花 (1点) 園芸 (43点)

表 彰 写真の部

特選 (学長賞) 大文字焼き 施設課 辺見張蔵
 準特選 (学長賞) 晩秋 文教育学部 高田保男

入選	暮色	人間文化研究科	松井泰子
〃	春	施設課	伊藤和夫
〃	雨の中	庶務課	加藤健次
〃	あじさいの頃	附属図書館	腰塚慶治

園芸の部

特選 (学長賞)	槇 柏	会計課	岩坂和美
準特選 (学長賞)	五葉松	理学部	石川克己
入選	クマジデ	附属高等学校	高橋 伝
〃	さつき	附属中学校	百 正二
〃	梅	附属高等学校	女ヶ沢清吉
〃	槇柏	学生課	古賀 智

特別出展の部

絵	附属小学校	古市 憲一
書道	附属図書館	岩淵 恵
〃	庶務課	三井田 勝
生花		華道班一同
刺繡	庶務課	涌井 豊子

○昭和54年度教職員卓球大会について

昭和54年度学内レクリエーション共同事業の一環として、8チームが参加し、教職員卓球大会が下記のとおり実施された。

日 時 昭和54年12月1日(土) 13時～17時

場 所 大学体育館

種 目 団体戦

表彰	1位	会計課	優勝カップ	賞品
	2位	附属学校	準優勝カップ	賞品
	3位	庶務課・施設課・学生部		賞品
	〃	附属図書館B		賞品

○第21回関東地区中堅係員研修の開催について

中堅係員に対し、その職務の遂行に必要な基礎的な知識、技術、態度及び広範な行政的視野並びに社会的識見を付与することにより、各機関における行政運営の中核となるべき公務員を育成し、併せて国民全体の奉仕者である政府職員としての一体感を培うことを目的として、人事院により中堅係員研修が、下記のとおり実施された。

期間及び会場 昭和54年11月6日(火)～15日(木)

大手町合同庁舎第3号館第1講堂

受講修了者 庶務課人事係 文部事務官 吉成政行

計 報

○田辺義一 家政学部教授死去

家政学部教授田辺義一氏には、病気のため12月10日急逝されました。享年59才。ここに謹んで哀悼の意を

表します。

なお、同氏には、生前の功績により従四位に叙せられ、勲四等旭日小綬章が授与され、また祭葬料が下賜されました。

○新任者住所

○職員の住所変更

○住居示表変更

日 誌 (抄)

11月6日(火)	教職員一般定期健康診断(6日、7日)、第21回関東地区中堅係員研修(6日～15日：於大手町合同庁舎)
8日(木)	一般教育委員会、第27回関東甲信越地区国立大学長会議(於竹橋会館)
9日(金)	理学視学委員実地視察
10日(土)	} 徽音祭
11日(日)	
12日(月)	電子計算機室運営委員会

13日(火)	全学附属準備委員会、教務委員会、R I 実験室運営委員会、極低温実験室運営委員会、教職員ソフトボール大会(13日～15日：本学グラウンド)	(1日、2日：於私立学校教職員共済組合湯河原宿泊所)、教職員卓球大会
14日(水)	人間文化研究科会議、奨学金合同審査委員会、第65回国立大学協会総会(14日、15日：於学士会館)、第54回関東甲信越琉地区施設部課長会議(14日、15日：於東京青山会館)	3日(月) 学寮委員会、一般教育委員会、教職課程委員会、教育実習委員会、附属学校運営委員会
15日(木)	事務連絡会議、日本育英会大学院予約奨学生選考会、日本育英会(学部1年2次)奨学生選考会、入試委員会小委員会、国立学校事務電算化打合せ会(於文部省)	4日(火) 入試委員会、教務委員会、女性文化資料館運営委員会
16日(金)	第32回国立大学協会事務連絡会(於学士会館)	5日(水) 人間文化研究科会議、学寮委員会、総合コース打合せ会、教職員の肝臓機能検査(文教育学部の教官対象)、定例学生大会
17日(土)	第26回東京地区国公立大学連合文化会(美術部門)学生委員分科会(於東京医科歯科大学)	6日(木) 教職員の肝臓機能検査(附属学校の教官対象)
18日(日)	学内レクリエーション共同事業バス旅行(長瀬、秩父自然科学博物館)	10日(月) 学寮委員会、職員特別定期健康診断(10日、11日)
19日(月)	教職課程委員会、留学生担当者研修会(19日～21日：於日本国際教育協会)	11日(火) 部局長会議、公開講座企画委員会、第1回教職員作品展(11日～14日)、健康安全管理担当者研修会(11日、12日：於大手町合同庁舎)
20日(火)	部局長会議、理学部拡大主任会議、昭和55年度大学入学者選抜共通第1次学力試験実施担当者会議(第2回)(20日、21日：於東邦生命ホール)	12日(水) 家政学研究科委員会、各学部教授会、附属図書館長候補者選挙
21日(水)	各学部教授会、学生部長候補者選挙、教職員一般定期健康診断(胃の検査、21日・22日)、教職員一般定期健康診断(第2回)、日本育英会奨学金返還説明会(本学)	13日(木) 事務連絡会議、災害補償制度説明会(於大手町合同庁舎)
22日(木)	永年勤続者表彰式、一般教育委員会時間割編成小委員会	15日(土) 改正給与法説明会(於東京大学)
23日(金)	第27回東京地区国公立大学体育大会第2回実行委員会(於東京農工大学)、対奈良女子大学定期戦(バスケットボール、於本学体育館)	17日(月) 学寮委員会
26日(月)	学寮委員会、学寮協議会	18日(火) 部局長会議、一般教育委員会時間割編成小委員会、行政財産等の使用状況実態調査(関東財務局)
27日(火)	部局長会議、教職員の肝臓機能検査(事務系職員対象)	19日(水) 評議会、全学附属準備委員会、施設計画委員会、学生委員会、学生連絡協議会
28日(水)	評議会、奨学金授与式、全学附属準備委員会、学寮委員会、教職員の肝臓機能検査(理学部、家政学部の教官対象)、放射線使用者に対する血液検査	21日(金) 学寮委員会、学寮協議会
29日(木)	創立記念日	25日(火) 冬季休業始め
12月1日(土)	昭和54年度厚生補導関係教職員研究会	28日(金) 御用納め